

令和2年10月22日
企画政策部

【市民が主役のまちづくり事業】

市街地の公園にホタルの復活をめざし「ホタルの幼虫」を放流します！

令和2年度君津市『市民が主役のまちづくり事業』の採択団体である「大道沢公園ホタルプロジェクト」が実施する事業について下記のとおりご案内します。

記

- 1 日時
令和2年11月11日（水） 午前9時00分から午前9時45分
（雨天順延／最終決定は当日 午前7時30分）
- 2 場所
君津市大道沢公園（北公園水路）
- 3 内容
大道沢公園ホタルプロジェクトが、君津市立外箕輪小学校の敷地内の「ホタル育成ハウス」で育てた幼虫を、同校4年生児童（14名）と共に大道沢公園に放流を行う。（放流数：約150頭）
- 4 目的
児童自らホタルの幼虫を放流することで、昆虫などの生き物への理解、科学的関心を高めるとともに、地域市民と児童が協働で活動することにより、協働の地域づくり、学校づくりに寄与する。
- 5 主催
大道沢公園ホタルプロジェクト（連絡先 新井 0439-52-2143）
- 6 協力
君津市立外箕輪小学校（連絡先 飯田教頭 0439-57-1753）

<参考>

1 放流する幼虫（ゲンジボタル）及び育成経過について

大道沢公園ホタルプロジェクトでは、大道沢公園にホタルを復活する目的で平成30年以来、ゲンジボタルの幼虫を育成しています。元となる幼虫は、例年5～6月に君津市練木・三直地域でホタル保護活動を進めるNPO法人「GREEN CANVAS」の協力のもと、同団体活動エリアでゲンジボタルの成虫を採捕し（例年オス、メス合わせ10数頭）、交尾、産卵、孵化さて、確保しています。今年は、5～6月、採捕した成虫が「外箕輪小学校ホタル育成ハウス」及び会員宅容器で交尾、産卵し、7月に幼虫が孵化しました。この幼虫にカワニナ（大道沢に生息）を給餌し、現在まで育成したものです。

2 大道沢公園について

大道沢公園は、土地区画整理と都市計画により、君津市南子安、杵師、外箕輪地区にわたって、昭和61年から平成6年度造成された都市公園です。その特徴は、旧大道沢の流れを再現し、全長1.2kmにわたる小川が流れる親水公園です。

3 活動の目的について

「大道沢公園ホタルプロジェクト」は、「ホタル舞う公園をつくろう」と地域の住民が集い、平成28年に結成した市民団体です。ホタルについての学習、ホタルの生息環境の学習、ホタルの生きられる公園の整備活動、ホタル幼虫の育成などを市の公園緑地課の支援と協力を得て活動しています。（会員数14名）地域が「ホタル舞い、ウナギ、ドジョウ、フナなどが泳ぐ大道沢」だった頃から住む住民と市街化してから新たに住民となったメンバーとが協働し、「ホタル舞う公園を次の世代につなぐ」を合言葉に活動しています。

4 活動場所（※丸で囲んであるところ）



出典：地理院地図（国土地理院ウェブサイト <http://www.gsi.go.jp/index.html>）

【本件に関する問い合わせ先】

君津市企画政策部政策推進課 担当：片倉・木原
電話：0439-56-1565 FAX：0439-56-1628
メール：seisaku@city.kimitsu.lg.jp